

本庄ナーシングホーム ICT導入成果報告

介護老人保健施設の導入事例紹介

施設概要

設立年 昭和63年度

従業員数 64人

入居者数 90人

住所 埼玉県本庄市小島5-6-1



ICT導入前の課題

記録書類の多くがアナログ管理で、膨大な量になる

手書きでの書類作成に時間がかかる(常に2~3人が記録をしている)

利用者と向き合う時間が少ない

ICT導入の概要

導入前

請求ソフトのみ導入(他は紙やExcel等で管理)

導入後

ソフトウェア名	ケア記録ソフト「すごろく」
通信環境	全館無線
データ保存様式	クラウド型
利用端末	ノートPC: 14台(うち8台、今回導入) デスクトップPC : 10台 タブレット : 9台(すべて今回導入)

ICT導入スケジュール

令和2年(2020年)

2月 ソフトウェアの検討開始

3月 ソフトウェアの決定

8月 ソフトウェア会社(ワイズマン)と契約

11月 ソフトウェアの試験導入

令和3年(2021年)

2月 ソフトウェアの本番運用開始

ICT導入・利用状況①

業務範囲	個別名	ICT化 (○/×)	ソフトウェア名	利用する職員
直接介護業務	利用者基本台帳	○	すごろく	看護・介護職員
	アセスメント	○	すごろく	看護・介護職員
	ケアプラン	○	すごろく	看護・介護職員
	介護記録	○	すごろく	看護・介護職員
	各種チェック表	○	すごろく	看護・介護職員
	家族への連絡	×		
	モニタリング	×		
	各種会議録	×		

ICT導入・利用状況②

業務範囲	個別名	ICT化 (○/×)	ソフトウェア名	利用する職員
間接業務	職員間チャット	×		
	スケジュール共有	×		
	掲示板	×		
	勤務表	×		
	業務マニュアル	×		
	事故報告	×		
財務支援	請求管理	○	ワイズマン	事務員
	入金管理	○	アプラス	事務長
人事労務管理支援	職員基本台帳	×		
	出退勤管理	×		

ICT導入による成果

書類の削減

- 介護記録等の書類を50%以上削減（見込み）

記録時間の削減

- 介護記録作業を1日当たり5時間以上削減

笑顔の多い施設

- 利用者と関わる時間の増加
- 見守りの時間の増加

ICT導入による成果（書類の削減）

事務所や倉庫に大量の書類を格納していた。



ICTの導入により、書類を半分以下に減らせる見込み

導入時に苦労した点・工夫した点



苦労した点

- ・電子機器に苦手意識がある職員もいた。
- ・試験導入期間では、手書きとタブレット入力を両方行っており、負担が大きかった。
- ・利用者データを手打ちで移行するのに難航した。



工夫した点

- ・導入推進チーム(フロアリーダー等)が個別指導や研修会を企画し、職員に対してトレーニングを行った。
- ・アナログ、デジタルの重複期間やデータ移行の負担は、PCスキルの高いものを中心となって作業を行った。

ICT導入後の感想

施設長

- 歴史の長い施設であるがゆえに電子化が遅れている。
- 予算が確保できなかったことも要因であり、今回は補助金を活用することで導入が実現した。

介護職員

- 日々の記録が多く、作業に追われてしまい、これまで利用者と向き合う時間がなかなか作れなかった。
- まだ不慣れだが、全員がマスターしたころにゆとりをもって業務が行えることを期待している。

事務職員

- 現場が手書きで書いた記録を毎月請求ソフトに登録しているが、ミスしてしまうこともあったため、自動でデータが入ることで間違いもなくなる見込み。

お問い合わせ先

導入事例に関してお問い合わせいただく場合は、施設に直接お問い合わせください。

本庄ナーシングホーム

電話番号 : 0495-21-7878

メールアドレス : m-kamigaki@jyobu-hospital.com